

実績報告書

令和 4年 3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

事業の目的	綾部市地域防災計画に規定する「災害ボランティアセンター」を常設し、平常時から研修や訓練などを通じ参画団体の連携や活動体制の整備を進め、被災者の早期生活復旧を支援することを目的とする。
事業の名称	綾部市災害ボランティアセンター事業
事業費 (市補助金)	<u>449,226円</u> (100,000円)
補助金の使途	綾部市災害ボランティアセンターが主催する、研修会等の経費及び災害時の活動に必要な資機材の整備
事業実施期日	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
事業実施場所	綾部市内一円
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	<p>1) 災害ボランティア活動の情報交換及び調査・研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾部市災害ボランティアセンター運営委員会の開催 (6/30、11/24) <p>2) 研修会や講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講座 (6/30：綾部市災害ボランティアセンターの紹介) ・運用訓練 (11/24：災害ボランティアセンターマッチングシュミレーションゲームによる訓練) ・啓発活動 (8/1：東八田福祉懇談会による福祉のまちづくり勉強会) <p>3) 市外災害ボランティア組織との連携及び協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府災害ボランティアセンター、災害時連携NPO等ネットワークへの加盟 <p>4) 資機材の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型除雪機、マッスルスーツ、ノートパソコン、サテンシール、スチールラック他
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	<p>1. 新型コロナウイルスによる影響で、計画通りとはいかなかったものの、2回の運営委員会を行うことで、団体・機関間の連携が継続的に進んだ。</p> <p>2. 運用訓練では、災害ボランティアセンターの役割や機能を構成メンバーで共有し、災害ボランティアセンター運営マニ</p>

	<p>ユアルの見直しを行うことができた。</p> <p>3. 災害支援にかかる資機材として、共同募金の助成を受け小型除雪機やマッスルスーツ、サテンシールなどを備えることができた。</p> <p>4. 市民団体等から災害に関わって研修協力依頼があり、災害を風化させない取組に協力できた。</p>
--	--

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収 支 計 算 書

令和4年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	補助金	100,000	100,000	綾部市
	補助金	100,000	350,000	綾部市社協100,000円、 京都府災害ボラセン 100,000円、京都府共同 募金会150,000円
	自主財源	0	5,821	
	合 計	200,000	455,821	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	謝 金	10,000	0	
	旅 費	15,000	0	
	賃 借 料	20,000	6,300	会場借上げ
	消耗品費	20,000	34,042	
	印 刷 費	30,000	67,920	サテンシール、資料印刷
	備 品 費	100,000	308,980	小型除雪機、マッスルス ーツ、自立式スクリー ン、ノートパソコン、ス チールラック
	役 務 費	5,000	31,984	通信運搬費29,764円 振込手数料220円 電波利用料2,000円
合 計	200,000	449,226		
差 引	0	6,595	次年度へ繰越	